


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 講師</p> <p>末岡 尚文 (すえおか なおふみ)</p> <p>SUEOKA Naofumi</p>
所属	保育科
学位	修士(教育学)(東京大学)
資格・免許	該当なし
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>2017年 3月 東京大学教育学部基礎教育学コース 卒業 (学士(教育学))</p> <p>2019年 3月 東京大学大学院教育学研究科基礎教育学コース修士課程 修了 (修士(教育学))</p> <p><職歴></p> <p>2020年 4月 日本学術振興会 特別研究員(DC2)(2022年3月まで)</p> <p>2022年 4月 日本児童教育専門学校 兼任講師(2023年3月まで) (担当科目: 教育原理)</p> <p>2022年 5月 東京大学大学院教育学研究科 特任研究員(2023年3月まで)</p> <p>2022年 10月 横浜保育福祉専門学校 兼任講師(2023年3月まで) (担当科目: 道德教育)</p> <p>2023年 4月 山梨学院短期大学保育科 専任講師(現在に至る)</p>
担当科目	<p>保育原理 保育職論 在宅保育 教育課程論</p> <p>保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ(保育所)</p> <p>幼稚園教育実習指導(2年) 幼稚園教育実習Ⅱ 教職実践演習(幼・小)</p> <p>基礎演習 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ</p> <p>教育課程特論(専攻科) 保育学特論(専攻科) 家庭問題特論Ⅱ(専攻科)</p> <p>現場研修Ⅰ(専攻科) 知的生活の探求</p>
専門分野	教育学
現在の研究テーマ	教育史、教育実践、子どもの権利
競争的資金等の研究課題	「障害児の普通学校就学運動における権利主体としての子どもの意志に関する歴史的研究」(日本学術振興会科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 課題番号: 23K18963 2023年8月~2025年3月)
所属学会	日本教育学会 障害学会 日本学校教育学会
メッセージ	日々の生活を通じて成長するのは、子どもも大人も同じです。短大には様々な知識や価値観、経験を持った人が集まっています。ぜひ、多くの人と交流し、沢山のことを学び、自らの考えを深め、興味のあることにはどんどん挑戦してみてください。

教育	
2023年4月～2024年3月	
教育方針	教科書等の知識を身に付けるだけでなく、それらを基に自分自身の理論を構築し実践する力を持った保育士・教員を養成する。
授業	<p>授業の工夫</p> <p><保育原理> 「保育」に関する基礎的な知識を身に付けるだけでなく、それらが実際の保育実践や社会全体といかなる関わりを持つかを把握するために、関連する保育実践やニュース等の映像などを積極的に活用し、授業の内容を多面的に把握・考察できるように努めている。</p> <p><保育職論> 「保育職」の意義や役割を多面的に捉え、授業を通じて自分なりの保育者像を構築していくことを目指して、学校や施設などの取り組みを題材に、グループでの話し合いやコメントシートの活用を通じた意見交換を行い、学生が相互に学び合う時間を設けている。</p> <p><教育課程論> 戦後学校教育の歴史を通じて、教育の目的・内容・方法などがどのように変化していったかを検討するとともに、文献記録や映像記録等を活用して具体的な教育実践の様子を観察することで、教育現場における教師の役割や授業の展開のあり様などを考察している。</p> <p><保育学特論> 保育科で学んだ知識を基盤に、グループディスカッションや全体での意見交換を行うことで、保育を取り巻く社会的な問題に対して多面的に考察を行い、相互に学び合う機会を提供している。</p>
	授業改善のための取組

教育 (つづき)	
2023年4月～2024年3月 (つづき)	
	<p>ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)</p> <p><卒業演習Ⅰ> 近藤幹生『保育とは何か』(岩波書店、2014年)をはじめとする書籍の記述を手掛かりに、ゼミ参加者がそれぞれの興味・関心に向き合いながら考えを深めるとともに、資料収集の方法や執筆時の注意点等を共有することで、卒業レポート執筆に向けての基盤づくりを行った。</p> <p><卒業演習Ⅱ> 前期は末富芳・桜井啓太『子育て罰』(光文社、2021年)等の書籍の講読や『あの日のオルガン』『夜間もやってる保育園』等の映像作品の視聴を通じて、卒業レポートのテーマにつながる問題関心を深める作業を行った。後期には各自の作業の進捗報告やゼミ参加者での集団討議等、学生同士が相互に協力し合いながら、より完成度の高いレポートの完成に向けた作業を行った。</p>
ゼミ	<p>卒業レポート・ 修了研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者が働きやすい環境のあり方 <ul style="list-style-type: none"> － 就労支援と環境、制度に焦点を当てて－ ・ インクルーシブ保育の在り方と実際の方法 <ul style="list-style-type: none"> － 葛飾こどもの園幼稚園の記録における職員の対象児に対する見方やかかわり方に焦点を当てて－ ・ 子どもの健康や成長に影響をもたらす家庭内外の要素について ・ 寄り添う保育の重要性 ・ 日本の哲学実践の進め方と意義について <p>保育園・小学校の比較から－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生まれた家庭における子どもへの影響 ・ インクルーシブ保育の現状と課題 ・ 絵本の持つ意味と読み聞かせのポイントについて <ul style="list-style-type: none"> － 瀬田貞二「絵本論」とインタビュー調査より－ ・ 不適切保育 <ul style="list-style-type: none"> － 引き起こされる原因と対処法について－ ・ モンテッソーリ教育における縦割り保育の可能性 <ul style="list-style-type: none"> － A 保育園のインタビューをもとに－
課外活動	古典芸能部 顧問
2023年3月以前	
主な教育業績	—

研究		
2023年4月～2024年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（その他：研究ノート） 1970年代における障害児「共生保育」の意義と展開－聖愛園の実践記録に焦点を当てて－ （単著）＜外部リンクあり＞	2023年4月	東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター活動報告（pp. 9-19） 東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
（その他：報告） 障害当事者運動を通じた戦後学校教育の問い直し－成人障害者の普通学校就学運動に焦点を当てて－ （単独）	2023年8月	日本教育学会 第82回大会 （オンライン開催）
2023年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著書） 障害児の共生教育運動－養護学校義務化反対をめぐる教育思想－ （共著）	2019年11月	東京大学出版会 担当部分：第7章「「ぼくはにんげんだ」－金井康治の就学闘争二〇〇〇日－」 （pp. 137-158）
（学術論文）（査読付） 障害児の普通学校就学運動における子どもたちの声の聴き取りの意義－止揚学園の「教育権運動」における障害児・健常児の記録に焦点を当てて－ （単著）＜外部リンクあり＞	2021年12月	教育学研究 第88巻第4号 （pp. 104-115）日本教育学会
（学術論文） 障害児の高校進学と「教育を受ける権利」の保障－「浦高問題」における血友病患者大西赤人の主張に着目して－ （単著）＜外部リンクあり＞	2021年3月	東京大学大学院教育学研究科紀要第60巻（pp. 413-422） 東京大学大学院教育学研究科
（学術論文）（査読付） 普通学校就学運動から見る障害児の意志－金井闘争に焦点を当てて－ （単著）＜外部リンクあり＞	2018年7月	研究室紀要 第44号（pp. 83-94） 東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：翻訳) インクルージョンの指針ーインクルーシブな価値に基づく学校づくりガイドー第4版 (共訳)	2022年5月	東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
(その他：解説) 気になる！教育関連用語解説 インクルーシブ教育 (単著)	2022年5月	教職研修 第597号 (p.71) 教育開発研究所
(その他：学会発表) 障害児の普通学校就学運動と就学訴訟ー「長崎訴訟」を中心にー (単独)	2021年8月	日本教育学会 第80回大会 (オンライン開催)
(その他：報告) インクルーシブな学校改革の検討ー“Index for Inclusion 4th edition”の「学びと参加に対するバリア」の議論からー (共著) <外部リンクあり>	2020年11月	院生プロジェクトワーキングペーパー (2019年度) (pp.74-89) 東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター
(その他：学会発表) 障害児の普通学校就学と地域で「生きる」ということー梅谷尚司の就学運動に焦点を当ててー (単独)	2020年8月	日本教育学会 第79回大会 (オンライン開催 (要旨掲載のみ))
(その他：学会発表) 障害児の高校進学における当事者の意志と直面する困難に関する歴史的考察ー「大西赤人君浦高入学不当拒否事件」に焦点を当ててー (単独)	2019年8月	日本教育学会 第78回大会 (於：学習院大学)
(その他：学会発表) 障害児にとっての学校の持つ意味ー脳性まひの少年金井康治の普通学校就学運動に焦点を当ててー (単独)	2018年9月	日本教育学会 第77回大会 (於：宮城教育大学)

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2023年4月～2024年3月
—
2023年3月以前（主なもの）
・「港区教育史 見る・知る・伝える ～港区教育アーカイブ～」(東京都港区教育委員会) 監修 (共同)
受賞 ※個人、所属団体
—